

平成 30 年度  
教員免許状更新講習のご案内

熊本学園大学

(平成 30 年 3 月 22 日更新)



## <熊本学園大学教員免許状更新講習受講手続きの流れ>

### 1. 受講者登録・UserID(受講者 ID)及びパスワードの取得

「熊本コンソーシアム教員免許状更新講習管理システム」(以下、「管理システム」という)  
<https://www.kuaskmenkyo.necps.jp/consortium-kumamoto/Menkyoindex.aspx> から受講者登録マニュアルに従って受講者登録します。登録されたメールアドレス宛に UserID(受講者 ID)とパスワードが記載されたメールが届きます。

※予約受付開始日はアクセスが集中しますので、前日までに受講者登録されることをおすすめします。

※講習に関する連絡・通知は主に登録されたメールアドレスにお送りしますので、確実に受信できるメールアドレスを登録してください。携帯電話のメールアドレスを登録する場合は、「@necps.jp」と「@kumagaku.ac.jp」からのメールが受信できるように、設定を行ってください。

※UserID(受講者 ID)及びパスワードは、管理システムを使用する県内全ての大学で共通に使用できます。



### 2. 受講予約(Web 予約)

平成 30 年 5 月 17 日(木)17 時 30 分より受付開始 **先着順**  
大学コンソーシアム熊本教員免許状更新講習管理システム(Web 予約)

<https://www.kuaskmenkyo.necps.jp/consortium-kumamoto/Menkyoindex.aspx>

「管理システム」に UserID(受講者 ID)とパスワードでログイン後、Menu「受講科目の予約」→「講習科目一覧」から、受講希望の講習を選択し、予約してください。予約が完了すると、その後の手続きについての案内が表示されますのでご確認ください。

※「キャンセル待ち受付不可」の講習は、定員に達した時点で受付終了とさせていただきます。また、「キャンセル待ち受付可」の講習においても、申込み多数の場合は、早めに募集を締め切ることがあります。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

※管理システムで予約ができる時間数の上限は 1 年間で必修領域 6 時間、選択必修領域 6 時間、選択領域 18 時間の合計 30 時間です。(県内の他大学を含む。)

※予約の取消は、受講申込書が受理されるまでは Menu「予約の取消し」からご自身で取り消しできます。受理後は本学へメール([jnews@kumagaku.ac.jp](mailto:jnews@kumagaku.ac.jp))でご連絡ください。



### 3. 事前アンケートの回答

予約後、「管理システム」にて、講習毎に「事前アンケートの回答」を行います。



### 4. 受講申込書の作成・送付

事前アンケートの回答後、Menu「受講申込書の作成」から受講申込書を印刷します。必要事項を記入し、押印、写真貼付を行い、学校長等の証明(公印)を受け、予約申請日の翌日から起算して 14 日以内(必着)に以下の宛先まで送付してください。 ※封筒の表に朱書きで「教員免許状更新講習申込書在中」とご記入ください。

〒862-8680 熊本市中央区大江 2 丁目 5 番 1 号  
熊本学園大学 教務課(分室) 教員免許状更新講習担当



### 5. 受講申込書受理の通知

受講申込書が受理されましたら、「受講申込書受理」のメールが送信されます。不備等ある場合は、電話又はメールにてご連絡いたします。

※お申込み後のメール通知(申込書受理、開講決定、成績公開、その他連絡事項)は、「@kumagaku.ac.jp」のメールアドレスから送信されます。メールソフトによっては、自動的に迷惑メールに振り分けられる可能性もありますので、メールフォルダの確認等も行ってください。携帯電話のメールアドレスを登録されている場合は、パソコンからのメールを受信できるように、一時的に受信拒否の設定を解除していただくか、ドメイン受信の設定にて「@kumagaku.ac.jp」の登録をお願いいたします。



## 6. 開講・不開講の決定

大学が定める最少催行人数において、「開講」又は「不開講」のメールが送信されます。



## 7. 受講料の納入

開講が決定次第、受講料の「振込依頼書(ハガキ)」が登録されたご住所に送付されます。合計金額を確認し、払込期限までに最寄りのコンビニエンスストアでお支払いください。

※振込期限を過ぎると振込依頼書は使用できなくなりますので、ご注意ください。



## 8. 受講料入金確認の通知・受講確定

入金の確認ができましたら、「受講料入金確認」のメールが送信され、受講確定となります。



## 9. 受講票の印刷

管理システムトップページの「各種資料」又はログイン後、Menu「受講票/会場/資料のダウンロード」から受講票を印刷、必要事項を記入し、講習当日に持参してください。本人確認を行いますので忘れないようにしてください。



## 10. 講習受講、履修認定試験、事後アンケートの回答

講習を受講し、履修認定試験を受けます。試験終了後、講習会場にて事後アンケートに回答します。



## 11. 成績の確認

成績が公開されると「成績公開通知」のメールが送信されます。成績は、管理システムにログイン後、Menu「予約・成績の照会」からご確認ください。「認定」又は「不認定」で結果が表示されます。



## 12. 修了(履修)証明書の受領

登録されているご住所へ大学から修了(履修)証明書が届きます。(受講日から2ヶ月以内)



## 13. 「更新講習修了確認」又は「有効期間の更新」の申請

修了(履修)証明書受領後、更新講習修了確認(旧免許状の場合)又は有効期間の更新(新免許状の場合)を受けるために、免許管理者(現職教員の方は勤務する学校が所在する都道府県教育委員会、現職教員でない方は住所地の都道府県教育委員会)へ申請が必要です。申請方法や提出書類は各免許管理者が定めていますので、各免許管理者が定める申請方法等を確認の上、必ずご自身の申請期限までに申請を行ってください。申請に関する手続きについては、各都道府県教育委員会に直接お問い合わせください。

- ・免許状更新講習受講・修了後の申請一覧: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/010/1314009.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/010/1314009.htm)
- ・熊本県教育委員会「教員免許更新制」: <http://kyouiku.higo.ed.jp/page2032/003/>

## 教員免許更新制

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により、平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制が導入されました。

教員免許状を有効な状態で保持するためには、修了確認期限(旧免許状の場合)又は有効期間満了日(新免許状の場合)の 2 年 2 ヶ月前から 2 ヶ月前までの 2 年間に、大学などが開設する免許状更新講習の中から必要な講習を 30 時間以上(必修領域 6 時間以上、選択必修領域 6 時間以上、選択領域 18 時間以上)を受講・修了した後、免許管理者に各自で申請を行い、更新講習修了確認(旧免許状の場合)又は有効期間の更新(新免許状の場合)を受ける必要があります。詳細は、文部科学省サイト「教員免許更新制」でご確認ください。

### 1. 受講対象者

平成 30 年度の受講対象者(講習を受講できる方)は、普通免許状又は特別免許状を有する方で、①又は②に該当し、更に③(1)～(12)のいずれかに該当する方です。

#### ①旧免許状所持者(平成 21 年 3 月 31 日以前に授与された免許状を 1 つでも所持する方)

平成 21 年 3 月 31 日以前に授与された免許状を 1 つでも所持する方は、免許状に有効期間は定められず、原則的に生年月日によって修了確認期限が割り振られています。(新たに免許状を取得しても修了確認期限が自動的に延期されることはありません。免許管理者への申請が必要です。)

平成 21 年 3 月 31 日までに授与された教諭免許状又は養護教諭免許状を持つ方

生 年 月 日	最初の修了確認期限
昭和 38 年 4 月 2 日～昭和 39 年 4 月 1 日 昭和 48 年 4 月 2 日～昭和 49 年 4 月 1 日 昭和 58 年 4 月 2 日～昭和 59 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日
昭和 39 年 4 月 2 日～昭和 40 年 4 月 1 日 昭和 49 年 4 月 2 日～昭和 50 年 4 月 1 日 昭和 59 年 4 月 2 日～	平成 32 年 3 月 31 日

※栄養教諭免許状を持つ方は、文部科学省ウェブサイトでご確認ください。

#### ②新免許状所持者(平成 21 年 4 月以降に初めて免許状を授与された方)

所持している免許状の「有効期間の満了の日」が平成 31 年 3 月 31 日又は平成 32 年 3 月 31 日の方。  
(新免許状を複数所持する場合、その有効期間は、最も遅く満了となる有効期間に自動的に統一されます。)

#### ③旧免許状・新免許状共通

- (1) 現職教員(校長、副校長、教頭を含む。ただし、指導改善研修中の者を除く)
  - (2) 実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、養護職員
  - (3) 教育長、指導主事、社会教育主事、その他教育委員会において学校教育又は社会教育に関する指導等を行う方
  - (4) (3)に準ずる者として免許管理者が定める方
  - (5) 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の教員
  - (6) 上記に掲げる者のほか、文部科学大臣が別に定める方
- また、今後教員になる可能性が高い方として、
- (7) 教員採用内定者
  - (8) 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用(または非常勤)教員リストに登載されている方
  - (9) 過去に教員として勤務した経験のある方
  - (10) 認定こども園で勤務する保育士
  - (11) 認可保育所で勤務する保育士
  - (12) 幼稚園を設置する者が設置する認可外保育施設で勤務している保育士も更新講習を受講することができます。

上記対象者以外でも対象となる場合がありますので、文部科学省ウェブサイト等でご確認ください。

## 2. 実施概要

会場	熊本学園大学（熊本市中央区大江2丁目5番1号）
開設者	
募集講習	必修領域2講習、選択必修領域2講習、選択領域11講習
受講料	6,000円/1講習
募集期間	平成30年5月17日(木)17:30～平成30年6月17日(日)正午 ※「キャンセル待ち受付不可」の講習は、定員に達した時点で受付終了とさせていただきます。 また、「キャンセル待ち受付可」の講習においても、申込み多数の場合は、早めに募集を締め切ることがあります。予めご了承くださいませようお願い申し上げます。
予約方法	「大学コンソーシアム熊本教員免許状更新講習管理システム」(Web予約) <b>先着順</b> <a href="https://www.kuaskmenkyo.necps.jp/consortium-kumamoto/Menkyoindex.aspx">https://www.kuaskmenkyo.necps.jp/consortium-kumamoto/Menkyoindex.aspx</a> ※受講者ID及びパスワードが必要です。事前に管理システムにて受講者登録を行ってください。FAXや電話での予約受付は行っていません。

- ・各講習のシラバス等、詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。4月以降は、管理システムの「講習科目一覧」でもご覧いただけます。
- ・管理システムで1年間に予約できる時間数の上限は必修領域6時間、選択必修領域6時間、選択領域18時間の合計30時間となっております。(熊本県内の他大学含む)

### 必修 全ての受講者が受講する領域

開設日 開設講習名	講習の概要	担当講師	時間数 主な受講対象者 定員 試験の方法
8月3日(金) 教育をめぐる現代的動向	本講習では、必修領域として示された4項目についての理解を深めるために、①「専門職としての教師の役割」、②「変容する日本の教育・世界の教育—教育政策の動向—」、③「子どもの心理的発達の理解と学習指導」、④「カウンセリングと子ども支援」の4つのテーマを設定する。	中村 光伴 (社会福祉学部准教授) 宮川 幸奈 (経済学部講師)	時間数:6時間 主な受講対象者: 中学校・高等学校教諭 定員:40名 (キャンセル待ち受付可) 試験の方法:筆記試験
8月3日(金) 幼児期の教育と子ども —理論と実践—	子ども・子育て支援新制度の実施や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂の動きなどを背景に、幼児期の教育と子どもについて、幼児期の教育をめぐる動向や新しい子ども論、発達論、集団(なかまづくり)論などを中心に、理論的かつ実践的に考察する。	伊藤 良高 (社会福祉学部教授) 山崎 史郎 (社会福祉学部教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭 定員:50名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:筆記試験

### 選択必修 受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域

開設日 開設講習名	講習の概要	担当講師	時間数 主な受講対象者 定員 試験の方法
7月31日(火) 現代の学校を巡る諸問題とその組織的対応	本講習では、選択必修領域として示された事項から、「学校を巡る近年の状況の変化」と「様々な問題に対する組織的対応の必要性」を取り上げる。前者においては「データから見る現代の学校」を、後者においては「子ども間の関係づくりに資する教員間の協働を目指して」を、それぞれテーマとして設定し、教育社会学と教育行政学・教育経営学を専門とする本学の専任教員が担当する。	伊藤 友子 (外国語学部教授) 波多江 俊介 (商学部講師)	時間数:6時間 主な受講対象者: 中学校・高等学校教諭 定員:40名 (キャンセル待ち受付可) 試験の方法:筆記試験
8月4日(土) 現代の幼稚園・認定こども園と 子育て支援—理論と実践—	子ども・子育て支援新制度の実施や幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂の動きなどを背景に、現代の幼稚園・認定こども園と子育て支援について、子育て支援の現状と問題点、課題や園、家庭並びに地域の連携・協働などを中心に、理論的かつ実践的に考察する。	伊藤 良高 (社会福祉学部教授) 山崎 史郎 (社会福祉学部教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭 定員:50名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:筆記試験



**選択** 受講者が任意に選択して受講する領域

※同一講習を複数開設していますが、重複受講はできません。予約の際にご注意ください。

開設日 開設講習名	講習の概要	担当講師	時間数 主な受講対象者 定員 試験の方法
7月31日(火) もう一度学ぶ造形の基礎 ※8月2日(木)および8月6日(月)と同一内容です。重複受講はできません。	この講習では、紙と鉛筆を使って絵を描いてみます。絵はちょっと?という人のための講習です。生活の中で美しいものにふれたとき、それをどう表現するかということを、6時間のなかで絵を描きながら学んでゆきたいと思います。	伊東 浩一 (社会福祉学部教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭、 特別支援学校教諭 定員:40名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:実技試験
8月1日(水) 幼児期における運動遊びの再考 ※8月7日(火)と同一内容です。重複受講はできません。	子どもの運動能力の2極化・体力低下が叫ばれて久しい。誰もが比較的容易に取り組むことができる運動遊びやニュースポーツを取り上げ、体を動かす楽しさや喜びを通して幼児期の運動遊びのあり方について考察を深める。	栗原 武志 (社会福祉学部准教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭 定員:36名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:筆記試験
8月1日(水) 会計環境の変容と会計教育のあり方	「知識基盤社会の時代」と形容される現代において会計教育はどうあるべきであろうか。知識基盤社会の特長については「知識を利用する知識の必要性」が説かれてきた。商業科教育においても「簿記や会計の知識を活用する能力」の開発が求められよう。本講習では、近年の会計制度改革の背景にある考え方を解説すると同時に、現代の経済・経営社会において「会計という知識」がどのように利用されているかに焦点を当てて話を組み立ててみたい。	酒巻政章(商学部教授) 小谷学(商学部准教授) 吉永心一(商学部講師)	時間数:6時間 主な受講対象者: 高等学校の商業科教諭 定員:20名 (キャンセル待ち受付可) 試験の方法:筆記試験
8月2日(木) もう一度学ぶ造形の基礎 ※7月31日(火)および8月6日(月)と同一内容です。重複受講はできません。	この講習では、紙と鉛筆を使って絵を描いてみます。絵はちょっと?という人のための講習です。生活の中で美しいものにふれたとき、それをどう表現するかということを、6時間のなかで絵を描きながら学んでゆきたいと思います。	伊東 浩一 (社会福祉学部教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭、 特別支援学校教諭 定員:40名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:実技試験
8月2日(木) 英語科教育の実際	英語指導の実践において有効と思える知識と考え方を、幅広い見地から学ぶ。以下の内容で構成される。 1. 中高生のための多読 2. Integrating skills: Language learning tasks for real-world communication 3. 英米文化を背景とした英語教育 4. 動機づけ観点で英文法を考える	ジョセフ・トウメイ (外国語学部教授) クリスティー・ ブロヴェンザーノ (外国語学部講師) 向井 久美子 (外国語学部教授) 林 日出男 (外国語学部教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 中学校・高等学校の 英語科教諭 定員:30名 (キャンセル待ち受付可) 試験の方法:筆記試験
8月6日(月) もう一度学ぶ造形の基礎 ※7月31日(火)および8月2日(木)と同一内容です。重複受講はできません。	この講習では、紙と鉛筆を使って絵を描いてみます。絵はちょっと?という人のための講習です。生活の中で美しいものにふれたとき、それをどう表現するかということを、6時間のなかで絵を描きながら学んでゆきたいと思います。	伊東 浩一 (社会福祉学部教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭、 特別支援学校教諭 定員:40名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:実技試験
8月7日(火) 幼児期における運動遊びの再考 ※8月1日(水)と同一内容です。重複受講はできません。	子どもの運動能力の2極化・体力低下が叫ばれて久しい。誰もが比較的容易に取り組むことができる運動遊びやニュースポーツを取り上げ、体を動かす楽しさや喜びを通して幼児期の運動遊びのあり方について考察を深める。	栗原 武志 (社会福祉学部准教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭 定員:36名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:筆記試験

開設日 開設講習名	講習の概要	担当講師	時間数 主な受講対象者 定員 試験の方法
8月7日(火) 現代ビジネスの風を読む -経営・流通・マーケティング・ 金融の新しい動き-	本講習は「現代ビジネスの風を読む」というテーマで、経営・流通・マーケティング・金融の幅広い領域において新しい理論・実態の状況を解説する。インターネットと流通・マーケティング、自動車製造企業の新しい環境や安全志向を基軸としたイノベーションマーケティング、保険業界や会社法の改正による新しい動きなどを中心に行う。	城戸 善和 (商学部教授) 林 裕 (商学部教授) 吉村 純一 (商学部教授) 吉川 勝広 (商学部教授) 出家 健治 (商学部教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 高等学校の商業科教諭 定員:20名 (キャンセル待ち受付可) 試験の方法:筆記試験
8月23日(木) 発声法の基礎と歌の楽しみ ※8月28日(火)と同一内容 です。重複受講はできません。	発声のしくみ、腹式呼吸について再確認し、無理が無く、且つ響きを持った発声法を習得します。この事は、指導現場での喉の負担を軽減する事にも効果があります。また、歌の発音、音楽的表現など理論を踏まえた実践でのスキルアップにより歌の楽しさをより深く味わう事を目指します。小編成での歌によるアンサンブルも行い、ハーモニー作りや音楽的創造の過程を指導者自身が体験することで豊かな音楽指導の向上をねらいます。	河添 富士子 (非常勤講師)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭 小学校教諭、特別支援学 校教諭 定員:35名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:実技試験
8月24日(金) 音を作って楽しむ	本格的な楽器(カホン)の制作を通して楽器の構造を理解し、演奏や合奏を通して日頃の授業にフィードバックできる方法を考える。本講習は、音楽や造形、生活科など多領域に渡った講習の概要である。 1. カホン制作 2. カホンの歴史を知る。 簡単な演奏方法 3. カホンを使用した非言語的コミュニケーション (ドラム・サークル) ※カホン制作キット代金として別途 6,480 円必要です。	吉津 晶子 (社会福祉学部准教授)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭 小学校教諭、特別支援学 校教諭 定員:30名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法: 課題シートおよび活動内 における実技試験
8月28日(火) 発声法の基礎と歌の楽しみ ※8月23日(木)と同一内容 です。重複受講はできません。	発声のしくみ、腹式呼吸について再確認し、無理が無く、且つ響きを持った発声法を習得します。この事は、指導現場での喉の負担を軽減する事にも効果があります。また、歌の発音、音楽的表現など理論を踏まえた実践でのスキルアップにより歌の楽しさをより深く味わう事を目指します。小編成での歌によるアンサンブルも行い、ハーモニー作りや音楽的創造の過程を指導者自身が体験することで豊かな音楽指導の向上をねらいます。	河添 富士子 (非常勤講師)	時間数:6時間 主な受講対象者: 幼稚園教諭、保育教諭 小学校教諭、特別支援学 校教諭 定員:35名 (キャンセル待ち受付不可) 試験の方法:実技試験

※上記内容は予定につき、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

### 3. 遅刻・早退について

交通事情等でやむを得ず遅刻した場合、講習開始後、30分までは受講を認めます。30分を超える遅刻、早退の場合は、いかなる事情であっても以後の受講はできません。

### 4. 気象状況等による講習の休講等について

台風等の気象状況や講師・会場の都合等で更新講習を実施できないと判断した場合は、管理システムのトップページでお知らせします。登録されているメールアドレスにもご連絡しますが、ネットワークの問題等により、メールが届かない場合もありますので、休講の可能性が考えられるときは、管理システムのトップページでご確認ください。

### 5. 講習の辞退について

受講申込書の受理前に受講を辞退する場合は、管理システムにてご自身で予約の取消しを行ってください。受理後に受講を辞退する場合は、本学までメールでご連絡ください。受講料等の返還については、本学ウェブサイト又は管理システムトップページの各種資料「受講料等の返還【コンソーシアム熊本】」でご確認の上、お手続きをお願いします。

## 6. 関連リンク集

- 文部科学省「教員免許更新制」  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/index.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/index.htm)
- 文部科学省「教員免許更新制 Q&A」  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/001/1315348.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/001/1315348.htm)
- 文部科学省「教員免許更新制に係る関係資料」  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/005/1388543.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/005/1388543.htm)
- 熊本県教育委員会「教員免許更新制」  
<http://kyouiku.higo.ed.jp/page2032/003/>
- 一般社団法人大学コンソーシアム熊本「教員免許状更新講習事業」  
[http://consortium-kumamoto.jp/?page\\_id=142#kyousan](http://consortium-kumamoto.jp/?page_id=142#kyousan)

## 7. お問い合わせ及び受講申込書送付先

〒862-8680 熊本市中央区大江 2 丁目 5 番 1 号  
熊本学園大学  
教務課(分室) 教員免許状更新講習担当  
TEL: 直通 096-364-7186 代表 096-364-5161  
E-mail: [jnews@kumagaku.ac.jp](mailto:jnews@kumagaku.ac.jp)  
受付時間: 8:45~17:15 (土日祝を除く)